

自家末梢血造血幹細胞移植を受けられる患者様へ

自家末梢血造血幹細胞移植パス（23 日間）【06002－00】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No1/2

	/	/	/	/	/	/	/	/
	1日目 (移植8日前)	2日目 (移植7日前)	3日目 (移植6日前)	4日目 (移植5日前)	5日目 (移植4日前)	6日目 (移植3日前)	7日目 (移植2日前)	8日目 (移植前日)
目標 毎日看護師と 評価します	・発熱、粘膜障害（口内炎や下痢等）、嘔気等の化学療法による副作用症状を看護師とともに確認し、症状があるときは早めに対処を受けることが出来る ・転倒なく安全に生活できる ・内服が出来る ・うがい・手洗いが出来る ・無菌室入室の物品が準備できる（移植 8 日前） 							
検査	・数日毎に採血があります ・朝6：00　夕方4：00に体重を測ります　※体重の増え方によって利尿剤を使用します 							
治療 処置	・化学療法を開始します　※24 時間で水分・栄養等の点滴を行います ・化学療法薬は下記の通りですが、この他に、利尿剤・膀胱炎予防剤・吐き気止め等を投与します（詳細はパンフレットを参照して下さい）							・化学療法はありません ・水分または栄養の点滴を行います 
	サイメリン （3時間）	カルボプラチン （3時間）	カルボプラチン （3時間）	カルボプラチン （3時間）	サイメリン （3時間）	エンドキサン （6時間）		
		エトポシド （4時間）	エトポシド （4時間）	エトポシド （4時間）	エトポシド （6時間）			
	 ・エトポシド投与中は口内炎予防のため氷なめが必要です ・口内炎予防のため1日3回、アロプリノールうがい薬で毎食後にうがいをします　※口の中全体になじませて吐き出します その後30分はうがいや飲水を控えて下さい ・このうがいは3 日目から開始しうがい薬がなくなるまで行います　※うがい薬がなくなるのは移植当日あるいは翌日になります							
食事 飲水	・加熱食になります。加熱食開始後は病院食以外にも制限があります※　パンフレットを参照し、不明な点は看護師にお聞き下さい ・吐き気や口内炎等で食欲が低下した時はお知らせ下さい 吐き気止めや痛み止めを使用する他、状況によって食事変更または一時的に食事が中止となります 							
清潔	・点滴治療の状況に合わせてシャワー浴を行います　※看護師が調整に伺います ・無菌室管理になった場合は1 週間に1 回、朝9：00からのシャワー浴になります　※他の日は清拭を行います 							
排泄								
安静 活動	・制限はありませんが、化学療法剤の点滴中は病棟内でお過ごし下さい ・無菌室管理の開始後は無菌室での生活になります							
説明 指導	・薬剤のパンフレットを参照し、副作用症状の他、体調の変化があるときはお知らせ下さい※早めに対処し少しでも辛くないように過ごしましょう							
	・無菌室に入 室するた めの物 品の準 備を完了 しまし ょう		・エトポシド中は4時間氷を舐めます ※なくなったら補充しますのでお知らせ下さい		・エンドキサンによる出血性膀胱炎 が起こることがあります ※赤い尿が出たらお知らせください		・明日の移植の予定に ついて説明します	

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

自家末梢血造血幹細胞移植を受けられる患者様へ

自家末梢血造血幹細胞移植パス（23 日間）【06002－00】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No2/2

	／ 9日目 移植当日	／ ～ 10日目～20日目 移植後1日目～移植後10日目	／ ～ 21日目～23日目 移植後11日目～退院日
目標	・発熱、粘膜障害、嘔気等の化学療法による副作用症状を看護師とともに確認し、症状があるときは早めに対処を受けることができる ・転倒なく安全に生活できる・内服やうがい手洗いが出来る ・内服やうがい手洗いが出来る ・無菌室の生活を理解し、行動することが出来る ・貧血、感染、出血傾向等の骨髄不全症状に対し予防行動が取れる  退院基準：易出血性の症状・所見がない 感染の兆候がない 全身状態に問題がない		
	・移植が安全に苦痛なく終了する		・血球が回復して無菌管理を終了できる
検査	・数日毎に採血があります ・朝6：00　夕方4：00に体重を測ります。体重の増え方によって利尿剤を使用します ・移植当日の16：00と翌日の朝に尿の検査があります 		
治療 処置	・栄養や水分の点滴があります（食事や水分の摂取状況で減量・中止します） ※発熱や吐き気・下痢等の副作用症状に合わせて薬を調節します ・ヘモグロビンや血小板の減少によっては輸血を施行します ・移植（午前中に行います） 1）副作用を抑える点滴をします 2）幹細胞を点滴で投与します 3）終了後利尿剤の注射をします ・移植中は心電図や血圧計を装着します 		
食事 飲水	・加熱食になります。加熱食開始後は病院食以外にも制限があります ※パンフレットを参照し、不明な点は看護師にお聞き下さい ・吐き気や口内炎等で食欲が低下した時はお知らせ下さい ※吐き気止めや痛み止めを使用する他、状況によって食事変更または一時的に食事が中止となります		
清潔	・1週間に1回、9：00からのシャワー浴となります ※曜日は担当看護師がお知らせします／他の日は清拭を行います。		
排泄			
安静 活動	・シャワー浴以外は無菌室内での生活になります		
説明 指導	・体調の変化がある時はお知らせ下さい ※早めに対処し少しでも辛くないように過ごしましょう ・白血球が0に近くなります ・感染症・口内炎・下痢等が出現しやすくなるため、うがい・手洗いを頑張りましょう ・うがいは通常、起床時、毎食後、寝る前に行いますが、口内炎が出来た時は水でも良いので2～3時間毎に行いましょう ・骨髄が殆ど働かない状態になるためヘモグロビンや血小板も下がります。貧血・出血傾向に注意しましょう ・体調が辛い時はお薬の管理やうがい薬の準備などを看護師がお手伝いします		・そろそろ血球が回復してくる時期です 血液検査の結果を見ながら無菌室管理を終了する日を検討します ・血球が回復すると口内炎や下痢・発熱等も改善されます

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります